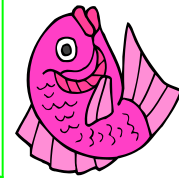




自治協議会だより 北崎 (第31号)

発行日: 令和 7年 2月 1日 発行者: 北崎校区自治協議会



*北崎校区自治協議会ブログ
URL⇒<http://kitazakijichi.blog.fc2.com/>
検索ワード⇒北崎校区自治協議会
*Facebook *Instagram
検索ワード⇒北崎よかとこ隊



こちらを讀取ください

福岡市関係局との意見交換会を開催

令和6年12月23日(月)
北崎校区自治協議会
副会長 板谷 一之

市の関係部局と校区の各役員等が意見交換会を北崎公民館において開催しました。
意見交換会の主な内容は下記の通りです。

1. FukuokaWestCoast プロジェクトについて

福岡市の西部には、美しい海岸線やフオスポット、おしゃれなカフェなどが集まる北崎エリアがあり、市内外から訪れる多くの方が、海辺を楽しみ、癒されている。「FukuokaWestCoast プロジェクト」は、この美しい北崎地区の海辺の魅力をさらに高めていくことで、地域の観光振興・活性化を推進するものである。

2. 各事業の概要について

① 活性化の新たな担い手となる民間施設の立地促進

○民間事業者のビジネス展開を促すとともに、事業者と地域の対話の場を設けるなど、地域活性化の新たな担い手となる事業者誘致に取り組む。

② 海辺を活かした観光振興

○海辺の観光周遊コースの形成や交通混雑対策を含む立ち寄りスポットづくりなど、自然観光と調和した持続可能な観光振興に向け、ソフト・ハード面から取り組む。
○フオジェニックな海辺で、快適に楽しめる道路整備(無電柱化や歩道の美装化)に取り組む。

③ 海づり公園を活用した活性化

○海づり公園が FukuokaWestCoast の魅力をアピールする立ち寄り拠点となるようにリニューアルを実施。
○浜辺の整備(養浜)、料金所・事務所の移築、ロータリーの新設など。

④ イノシシ対策

○鳥獣害対策は個体群管理(捕獲)・侵入防止対策(防除)・生息環境管理の3本柱が基本である。
○侵入防止策の導入支援や地域ぐるみの生息環境管理支援などの取り組みを継続するとともに、令和6年度は新たに集中捕獲や生息調査を実施し、捕獲に係る取り組みを強化している。

(1) 集中捕獲

猟友会の箱わなを増強するとともに、民間事業者のくくりわなによる捕獲を実施。

ー 令和6年 北崎校区実績 ー

猟友会の箱わなによる捕獲数		
	箱わな	捕獲数
全体	31基	56頭

民間事業者のくくりわなによる捕獲数		
	捕獲期間	捕獲数
1	7/25～8/7 (14日間)	18頭
2	9/12～9/25 (14日間)	16頭
3	11/1～11/13 (13日間)	7頭
計	41日間	41頭

(2) 生態調査

一定間隔でセンサーカメラを設置し、イノシシの撮影頻度や撮影頭数から生息数を推計。

(3) 侵入防止策導入支援

国補助を活用した侵入防止柵設置支援や市独自の設置強化支援を実施。

3. 定住化促進について

● 定住化促進

○北崎校区の課題である「人口減少・少子高齢化」に対応し、地域コミュニティの維持・活性化を図るため、空き家・空き地を活用した定住化促進を進めていく。
○令和6年度の取り組みとして、活用可能物件の発掘・北崎への移住ニーズの掘り起こし・「NPO 法人 わが家の119番」との連携を開始した。
○福岡市空き家活用補助金を広報し、利用者に活用していただく。

4. その他

西部8校区で元寇750周年事業として地域の活性化を図ることを目的とした実行委員会が発足した。令和6年11月30日(土)に「元寇750年シンポジウム」がさいとぴあで開催され、多くの参加者があり、成果を収めた。

以上の通り行政より説明があり、地域としては各項目や地域特有の関連する事項等について質疑あるいは要望を行い終了しました。今後とも行政側と話し合い、解決を図っていきます。

北崎の自然と環境を守る

校区環境推進委員会
会長 木原 満一

北崎校区の草場にて、耕作放棄地を利用し、ライ麦を育てている方がおられます。ライ麦の実実は食物に、茎はストローとして使うことで環境問題と結び付けて取り組んでおられる、糸島ストロー製作所 有持要さんにお話を聞かせていただきました。テレビなどでプラスチックゴミの問題を見聞きされたことがあると思いますが、ウミガメの鼻にプラスチックのストローが刺さっていたり、魚の胃袋からビニール袋が出てきたりと、プラスチックゴミの多さに驚きます。有持さんは『ストローを植物に変えて、耕作放棄地にライ麦を植え、「耕作放棄地」と「プラスチックゴミ」を削減し、美しい北崎の里山を未来に残したい』と。そして最後に『たかがストロー、されどストロー』と言ってありました。なんとなくわかるような気がしたお話でした。頑張っていたきたいです。



北崎校区老人クラブ連合会より

校区老人クラブ連合会
会長 高井 学而

令和6年も校区老人クラブ連合会(以下、老ク連)は様々な活動を行いました。新型コロナウイルスの影響を受けながらも、年間事業計画を無事に遂行することができました。

7月:ダーツ大会

15チームが参加し盛り上がりしました。参加者同士の交流も活発で、楽しい時間を過ごすことができました。

9月:グラウンドゴルフ大会

20チームが競い合いました。自然の中でリラックスしながら競技を楽しむことができ、健康づくりにもつながりました。

11月:小学生との昔の遊び道具手作り教室

竹とんぼやカッポン作りを行い、子どもたちは大変喜んでくれました。ダーツ大会

11月:絵手紙教室

自分の想いを絵に表現することが大変難しかったのですが、講師の先生と絵手紙教室の会員の皆様のご協力により、素敵な絵手紙を完成することができました。

老ク連では様々な活動を通して地域とのつながりを大切にし、楽しみながら健康づくりを推進しています。これからも様々なイベントや活動を企画し、地域の皆様との交流を深めていきたいと考えています。



校区ロゴマーク
決定!

昨年7月下旬～9月末日の期間に募集した校区ロゴマークについて、多数の応募をいただきありがとうございました。

最優秀賞



檜崎 大輝さん

多数の応募の中から最優秀賞1名、優秀賞5名の方のロゴマークが選ばれました。今後は北崎のシンボルとしていろんな場面で活用していくこととなります。ぜひ覚えてください!



男女共同参画をすすめる会

校区男女共同参画をすすめる会
会長 袈裟丸 悦子

校区男女共同参画をすすめる会(以下、男女共)の今年度の活動も終わりに近づいてきました。ここで皆さまにどんな活動をしているのかご報告させていただきたいと思います。

男女共では年に6回、北崎公民館との共同事業(女と男の社会学)があります。

6月:健康講座『まだまだいける!しっかり動いて若さを保つ~生活習慣病を予防しよう』

運動指導士さんから家でも出来るストレッチを学びました。

7月:『防災と衛生環境』

花王さんから災害時に用意しておくの良いものや準備など、新しい商品などを紹介していただきながら、いざという時に役立つものの説明やお話を伺いました。参加者の方からも“知らなかったものや気付かなかったことなど学べて大変役に立った。”との感想が寄せられました。

9月:元寇についての講座『今年は蒙古襲来750年』

九州大学名誉教授服部英雄氏をお招きしてどんな歴史があったのか詳しくお話をさせていただきました。地元に住んでいても知らなかったことを改めて知る機会となりました。自治協議会の皆さまや老人クラブ連合会の方々などたくさんの方にご参加いただき大盛況でした。

10月:『ウォーキング』

西浜から二見ヶ浦へ歩きました。このコースは風光明媚で気持ちの良いコースで皆さんは軽くおしゃべりしながらウォーキングを楽しみました。



10月ウォーキング

12月:『ものづくり』

工房スマイルさんに置き物の可愛い陶芸を習いました。初めてとは思えない力作ばかりで皆さんの才能に驚きました。無心で作品を作る時間はとてもリフレッシュできました。作品の仕上がりがとても楽しみです(1月上旬現在)。



12月ものづくり

2月には『大人の音楽会』があります。今回は福岡では珍しい、チンドン屋さんをしている“ちんどん鈴乃屋”さんをお招きします。なかなか目にすることない現在のチンドン屋さんをぜひ、皆さん一緒に体験してください。今回は「大人」ではなく「皆んな」の音楽会として小学生以上なら保護者同伴での参加ができるようにしました。

共同事業以外に下記の内容で単独事業を行っています。

5月:男女共委員研修会『クロスロード・ダイバーシティゲーム』

多様性についてゲームをしました。このゲームは、多様性がある場で起きる深刻になりがちな問題をゲームを通して楽しみながらより深い対話の機会を創り出します。参加者によって変わる気付きがあるものです。これまで気付かなかったことを相手を通して知ることができるゲームです。

R7.1月:『バスハイク研修』

昨年度は実施がなかったこともあり各イベントのアンケートにはバスハイク研修希望の声が多くあったことから、今年は実施することになりました。行き先は九州国立博物館と太宰府天満宮です。バスの手配などがあり寒い時期になりましたが31名の参加がありました。地域の皆さまの交流や親睦の場となり楽しんでいただけたよう、役員で話し合い、計画しました。

昨年11月の校区文化祭演芸大会では、男女共についてより深く知って欲しい思いとPRを兼ねて「上を向いて歩こう」の替え歌「男女共を知っていますか」を作り、役員で歌いました。聴いていただいた方、区役所の方、他地域の方に思った以上に好評で私たちも驚いていますが、とても嬉しかったです。このように地域の方が参加して楽しめることをこれからも企画・提案し、北崎校区男女共同参画をすすめる会のスローガンである『集い、学び、楽しむ、笑顔』をモットーに取り組んでいきたいと思ひます。そのためにはぜひ皆さまのご協力、そしてご理解をよろしくお願いいたします。

山部会より活動報告 — 北崎を考える会 —

「北崎を考える会」は、校区自治協議会の目的にある校区の活性化のため、各町内役員および協力会員で構成され、活動の骨子となる『北崎活性化構想』を基に、目標とする事業に部会を設け取り組んでおります。この活性化構想にはハイキングルートの整備があり、令和6年度からは新たに「山部会」を設置し、灘山から蒙古山に至るハイキングルートの復興を目指すことになりました。今年度実施した活動は、事前の探索を基に、令和6年9月、後浜から灘山の中腹(博多湾側)を通るルートについて中間点にあたる部分までの山道の草刈りと枝打ちを実施。11月にはアイ・ティー・エスファーム(西浦)の外縁を通り、妙見山から蒙古山の谷間にかけて、山道の草刈り・枝打ちを行いました。また、10月には自治協議会の役員の方々総出による蒙古山山道の草刈りが行われました。灘山から蒙古山にかけての山道は、古くから畑山の管理、生産物の採取、岬や石碑などを巡る遠足・社会見学など日常の中での往来があり、記憶に残る方も多いと思います。これらの山道は、現在も国土地図上には記載されていますが、長年の雨風や震災などでの損壊で人々の往来がなくなったことから、通行不可能な状態となっております。この度令和4年11月に、西方沖地震で倒壊していた蒙古山の石碑が復興され、併せて登山道が整備されたことと、校区外ではありますが、以前から北崎と繋がりがある方々から“灘山から蒙古山に至るルートは景観と歴史ある史跡があり、明確で安全なコースとして何とかしたい。”との話がありました。西区の「お宝発掘事業」とも整合することから、西区役所を介し校区との会合の結果、三者で協力して『灘山~蒙古山に至るハイキング可能なルート』として整備することになりました。整備にあたっては、以前から地図上に記載のある既存の山道に基づいて進めるもので、主に進路の切り開きを行い、歩行路は今後来訪者が歩くことで、自然に道として形成されていくものと考えています。今後は、灘山(博多湾側)の残り半分と妙見山の谷間から蒙古山までのルートの切り開き、コース全体の点検・案内表示を予定しております。最終部分については校区内の皆さまとの共同作業を考えております。ぜひ皆さま、ご参加の程よろしくお願いいたします。

(随時、参加協力者を募集しています。北崎公民館内:北崎を考える会まで) <北崎を考える会運営部会山部会 木藤 義治>



9月28日



11月16日

第43回北崎校区文化祭

— 主催 北崎校区自治協議会 北崎公民館 —

作品展覧会:10/28~30 北崎公民館
演芸大会:11/3 北崎小学校体育館



福岡マラソン2024

11.10(日)

